

## 平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

### 1. 学校概要

学校名 宮城県 気仙沼市立大島小学校  
種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  中高一貫教育  高等学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )  
所在地 〒988-0613  
宮城県気仙沼市高井40-2  
E-mail osim-s13@ark.ocn.ne.jp  
Website www.kesenuma.ed.jp/ooshima-syou/  
児童生徒数 男子 19名 女子 34名 合計 53名  
児童・生徒の年齢 6歳～12歳

### 2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

### 3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

① 1, 2年生 (生活)

校地のそばにある多目的グラウンド「ふれあい広場」で自然観察や虫捕りを行ったり、校地外の教材園「くぐなり農園」で野菜の栽培を行ったりした。四季の変化や豊かな自然の恵みを感じ取らせる活動にすることができた。

② 3年生 (総合的な学習の時間)

「大島の自然の豊かさにふれて」

大島の特産品「北限のユズ」と「復興そば」の学習を行った。

「北限のユズ」の学習では、ユズ畑の見学・収穫体験・出荷作業などの体験活動にユズ農家の方々のご協力をいただき、地域の自然を生かした産業の一端を体験させることができた。

「復興そば」の学習では、種まき・収穫・そば打ちなどの体験学習を行い、「復興そば」関係者の方々から講話もいただいた。大島でそばを作る意義などについても知る事ができる貴重な学習になった。

③ 4年生 (総合的な学習の時間)

「大島の海の豊かさを感じて」

島内の浜に生息している生物の観察と「ワカメの養殖」についての学習を行った。

浜の生物の観察では採取して観察し、図鑑で調べ生態などについてまとめた。

「ワカメの養殖」の学習では、種はさみ・ワカメの収穫・ワカメの調理・学習のまとめまで漁協青年部の指導のもと体験学習を進めることができた。大島の特産品であるワカメについて詳しく知ることができ、今後、地域の外に向けて発信していこうという気持ちが育ってきている。

④ 5年生 (総合的な学習の時間, 社会, 理科)

「大島の海を見つめて」

大島の特産品の一つであるカキの養殖について学習した。

カキ養殖場でカキの幼生をカキ棚につるす作業を見学したりプランクトンの採取・観察を行ったりして新聞にまとめた。また、水揚げからカキ剥き・出荷までを見学した。カキ養殖に携わっている地域の方々との交流により、自分たちの住む地域の産業や自然のすばらしさを実感できた。

⑤ 6年生 (総合的な学習の時間)

「大島の海と生きる」

大島の特産品の一つであるホタテ貝の養殖について学習した。

「ホタテ貝の養殖」を見学し、ホタテの稚貝採取・選別・分散など養殖体験を行った。また、養殖しているホタテについて調査し、大島の海の環境を維持していくために自分たちがどのように関わっていくべきか話し合い、今後の大島の町づくりについて考える活動にすることができた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）